

ハンググライディングシリーズ2018年度ルール改定サマリー

HG競技委員長 板垣 直樹

■シリーズ規則

- ノミナルタイム係数の導入(1-6.【ハンググライディングシリーズランキング】)
- ノミナルタイム変更によるフライト得点の低下を緩和するために、シリーズランキングに計上するポイントはタスク得点をDQで割ったものとする。
- ただし、DQ0.9以下のタスクは一律0.9で割るものとする。
- 世界選手権選抜ポイントにも同様の考え方を導入する。

(2018/02/25追記)

カテゴリー2承認の要件として、ノミナルタイム1.5hは必要条件でないことが判明したため、ルール変更を取りやめる

■競技規定

- ・フライングのペナルティの変更
"3秒ごとに1点"から"2秒ごとに1点"に変更される

- ・GAPバージョンの変更
GAP2014 -> GAP2016

- GAPのノミナルタイム
- カテゴリー2の要件を満たすために1.5hに変更する

(2018/02/25追記)

カテゴリー2承認の要件として、ノミナルタイム1.5hは必要条件でないことが判明したため、ルール変更を取りやめる

■開催規定

- ・スポーティングライセンスの必須化(Ⅱ-1【参加資格】)
カテゴリー2の大会に出場するにはスポーティングライセンスを必須とする
- ・ウェイポイントの事前アップロード(Ⅱ-9【GPSコーディネイト】)
選手が事前に自分でウェイポイントをアップロードすることを推奨する。

■海外獲得ポイント換算規則

- ・海外獲得ポイントの条件緩和(2. 基準)
「シード3人、参加人数40人」から「シード2人、参加人数30人」に変更する。

■その他

- ・世界戦選抜基準の統一
2023年度世界選手権の選抜から選抜基準を国内ランキングに一本化する方向で検討を開始する